

平成 23 年度第 1 回「関西のブランド力向上推進有識者委員会」 議事録

日時：平成 23 年 12 月 26 日(月) 10：00～12：00

場所：大阪合同庁舎 1 号館 新館 3 階 A 会議室

議 事 次 第

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

(1) 座長挨拶

(2) 「はなやか関西～文化首都年～2012」のテーマについて

- ① コア事業及び実施主体の応募状況報告
- ② テーマ展開及びテーマ候補に関する関西各地での取組等
- ③ テーマ（コア事業・実施主体・実施内容）の審査及び決定

(3) その他

4. 閉会

1. 開会

2. 挨拶

近畿地方整備局 小関副局長

3. 議事

(1)座長挨拶

橋爪座長

- ・ それでは進めたいと思う。2011年の茶の文化フォーラムに参加させてもらった。
- ・ イベントの1日目は大雨だったが、2日目は無事、お天気に恵まれ非常によかったと思う。
- ・ 今年度の事業を通じて形成された企業、自治体、博物館等のネットワークを今後も生かしてもらえればと思う。
- ・ 特に茶の産地と消費地、歴史文化に関わっている方々が繋がるのが、従来はなかった。産業政策と文化政策の境目で、こうした取り組みがあるのは良い。今後も連携が図れる機会となればと思う。
- ・ 来年度は、今年度には無かった「コア事業」という概念を立ち上げ、「コア主体」を軸としたテーマ募集を行う形をとりたいと考えている。本日はこのコア事業の審査・決定

等を行いたいと思う。

- ・ それではまず、事務局より資料説明をお願いします。

(1) 「はなやか関西～文化首都年～2012」テーマについて

■資料1～3について

事務局／御手洗課長

- ・ (資料1～3説明)

橋爪委員長

- ・ ありがとうございます。
- ・ 各委員の意見をもらいたい。
- ・ まず徳島県から一言お願いしたい。

徳島県

- ・ 人形浄瑠璃街道連絡協議会が10月12日に発足した。そこで情報交換、交流を図り、個性を磨きながら、発展していきたいという話があった。
- ・ これからも進めていきたいと思うので、よろしく願います。

河内委員

- ・ 徳島県から相談を受けて、人形浄瑠璃というテーマに既に関わっている。知事も熱心である。
- ・ 国民文化祭もあるので推進したい。問題は大阪の扱いである。人形浄瑠璃を大成させた文楽は芸術性が高く、世界遺産にもなっている。
- ・ 日本中に人形浄瑠璃があるが、太い幹は淡路、阿波にある。大阪の能勢も頑張っており、太夫が健在である。
- ・ 今後、文楽協会、国立文楽劇場との話し合いが必要と思っている。
- ・ 日本文化における人形浄瑠璃の位置づけを確認する良い機会だと思う。
- ・ 「忠臣蔵」等、歌舞伎の代表的な名作は人形芝居で初演したものが多い。日本では人形芝居は子供が見るものではなく、大人が観るもの。これは世界的にも珍しい。近世日本の国民劇、本格的なドラマを作ってきたのが人形浄瑠璃である。
- ・ 江戸自体は浄瑠璃言葉が共通語だった。高田屋嘉兵衛や大黒屋光太夫らが航海中に持っていたものの中に、必ず浄瑠璃本が入っている。

橋爪座長

- ・ 関西への広げ方等については、後ほど議論いただきたい。
- ・ まずは人形浄瑠璃のテーマ選定について意見をもらいたい。

河内委員

- ・ 良いテーマだと思う。

坂上委員

- ・ この事業は継続することに意義があると思う。

- ・ まず前提として、「やり方」について確認したい。次年度のテーマは、コア主体の公募という形で行うが、次々年度も同様の方法をとるのか。状況によって柔軟に方法を変えていくという考え方でいいのか。
- ・ また、今年度、次年度の事業予算、今後の国としての関わり方を教えていただきたい。

事務局

- ・ やり方は固めてしまうわけではない。一番良い進め方を検討していきたいと思う。
- ・ 予算の面だが、平成24年度予算は国会に提出前であり、どのようになるかは分からない。ただし、今年のガイドブック等の広報費用に相当する分は確保したいと考えている。
- ・ 観光面については運輸局等と協力しながら、可能な限り支援したいと思う。

千田委員

- ・ 徳島の人形浄瑠璃を文化首都年のテーマとして選定することは良いと思う。
- ・ 徳島の若者が大阪に買い物へ行くように、徳島は関西の一部である。関西のブランド力向上のために、徳島県が中心となって取組を進めることには賛成である。

堀井委員

- ・ 徳島県には人形浄瑠璃街道で応募していただいて、御礼申し上げたい。
- ・ コア事業とするのは賛成である。
- ・ 2点、意見を述べさせてもらいたい。国民文化祭に乗っかっただけという印象となつては困る。文化の国土軸を開発し、ステップとして次の世代につないでいく、広域的な取り組みが必要である。
- ・ その点で、河内委員が仰ったように、大阪が抜けているのはおかしい。浄瑠璃は三味線を使うが、私の記憶が正しければ、その前は琵琶を使っていた。
- ・ 三味線が入ってきて、人形浄瑠璃として発展していった。三味線は沖縄から堺に入ってきたのではないかと思う。そういった視点からも、大阪は不可欠である。
- ・ もう1点は関西ブランドの向上ということを考えると、一過性のイベントではなくて、次の展開へのスタートにならなければならない。次世代に伝えるということをしっかり柱・目標としておくべきではないか。

村田委員

- ・ テーマは賛成である。
- ・ こうした活動はいったん途切れると、一から立ち上げることが大変である。
- ・ 本日、大商は出席されているが、関経連、同友会、大阪市も欠席されている。全体で進めるということができていないのが残念である。
- ・ 関経連、同友会に働きかけて欲しい。大阪府・大阪市の関係が難しいなかで、どういった動きが良いのか不透明な部分はあるが、是非、やって欲しい。

橋爪委員長

- ・ 私も人形浄瑠璃街道を世界の冠たる文化として訴えかけて欲しいと思う。
- ・ 私は関西広域連合の観光・文化振興計画の策定にも関わっている。

- ・ 広域連合と文化首都年では構成団体が違う。しかし、(人形浄瑠璃街道という)プログラムを両方の機関がサポートする形となっている。
- ・ 双方がうまく連携して盛り立てていくようにお願いしたい。

■資料4・5について

事務局／課長

- ・ (資料4・5説明)

橋爪座長

- ・ 文化首都年には、関西広域連合の構成団体とは違い、奈良県、三重県等が入っている。
- ・ 私の父親が出身の三重県・志摩市。安乗文楽などのある三重県とも是非、連携できればと思う。
- ・ また私は大阪府の文化振興の会長を務めている。橋下元知事は「文楽は従来どおりの活動を続けており、新しい挑戦をしていない。」といったニュアンスの指摘をしていた。その発言が新聞紙では「文楽が嫌い」という記事になる。
- ・ 文楽についても新しいチャレンジをしていることを、きちんと示すことが重要だと思う。

河内委員

- ・ 橋下新市長の文化と観光を一緒にしたいという思いは理解できる。
- ・ 人形浄瑠璃の重要性を理解してもらうのに、文化首都年は良いきっかけになると思う。
- ・ 浄瑠璃言葉は、18・19世紀の日本人の共通言語だったのではないかと考えている。当時、日本は地域ごとに言葉が異なった。日本中で関西の商人が商売できたという背景に、浄瑠璃言葉があったと考えている。
- ・ また、人形浄瑠璃を人形(ひとがた)文化として見ても面白い。日本は現代でも人型ロボットに名前を付けるように、人形を人として見る文化がある。
- ・ 人形文化として学会等を巻き込んでやれば、意欲的で知的な試みとして面白いうねりになるのではないかと思う。

坂上委員

- ・ 私は、淡路人形会館建設の手伝いをした。人形浄瑠璃を観たが、長く退屈した覚えがある。一般の人には言葉が分からない。外国人向けと同様にテロップが必要である。
- ・ 一般の人への分かりやすさという観点から、伝統継承と創造の両方に取り組まなければならない。
- ・ 人形浄瑠璃街道は徳島県が国民文化祭としてやるものであるが、文化首都年の取組の中で関西全体の動きとなればと思う。
- ・ 淡路島の淡路三原高校に浄瑠璃クラブ(郷土部)があり、淡路人形浄瑠璃を継承している。若い力に脚光を当てるのも1つの手である。

千田委員

- ・ 人形文化というのは面白いと思った。人形は、呪術的というか、息を吹きかけることに

よって払いの儀式を行っていた。それが、平城京の木簡からもひな祭りや流しびなに発展していくことがわかる。それと人形浄瑠璃と関係があるのか分からないが、研究していくと非常に面白いのではと思った。

堀井委員

- ・ まだまだ、文化首都年の取組が認知されていない。
- ・ 単なる広報・パンフ、新聞記事で広報していくのではなく、市民を主体的に巻き込むような仕掛けが必要と考えている。
- ・ 大阪の「水の都運動」では、安藤忠雄さんが指揮をとった桜の植樹（1人1万円の寄付）が非常に成功した。
- ・ 大阪は地域のアイデンティティになるような歴史的資産を粗末にし過ぎている。谷町筋沿いの路地に見るも無惨に押し込められている。
- ・ その代表的なものが近松門左衛門の墓である。この際、市民から寄付を募り、「大村益次郎殉難報國之碑」のように近松門左衛門の銅像を作ってはどうか。1年で集まらなければ、複数年かければ良い。
- ・ パンフレット等の当たり前の広報だと認知されない。話題性があり、市民も巻き込むようなPRが必要である。

村田委員

- ・ 歴史や伝統が守ることも重要だが、エンターテインメント性という切り口も重要である。
- ・ 京都が小倉百人一首歌碑の設置を、関西の運動に盛り上げようとしたが、結局、京都の人しか寄付しなかった。
- ・ 今回の人形浄瑠璃も特定の地域の活動ではなく、関西全体の活動にする必要がある。

橋爪委員

- ・ 3点、述べさせてもらいたい。
- ・ 1点目は、国際的な視野に立って取組を進めて欲しいということである。
- ・ 私の研究室に四川省から来たお茶の文化の研究をしている学生がいる。茶の文化も国際的に捉えると面白い。
- ・ 人形浄瑠璃はフランス・ナントの取組やライオンキングなどにも影響を与えている。
- ・ 伝統的なものを再現するのではなく、新しいものをつくる視点が必要である。広域連携だからこそできるというアイデアを入れてもらえればと思う。
- ・ 2点目は教育に関するプログラムづくりである。堺市は「茶の文化」を通じた教育プログラムがある。人形浄瑠璃に関しても、小学生でも理解できる人形浄瑠璃を考えて欲しい。
- ・ 現在、小学生等が、社会教育として人形浄瑠璃を観劇するが、難しすぎて内容を理解できないため、大人になって観に行こうと思わない。もっと子供が楽しんで見ることができるプログラムを考えるべきである。
- ・ 3点目は、観光ルートの開発についてである。関西広域連合や関西の5商工会議所も、

広域観光ルートの開発に取り組んでいるが、発想が重複している。広域でも観光ルートの開発は、過去にも行われているが、どう生かされているのかが見えてこない。地図上で線を引っ張るだけでは、観光ルートとして機能しない。

- ・ ランドオペレーターがモニターツアーをすとか、大手の旅行代理店が商品化するようなルートに仕立てていかなければならない。
- ・ 観光庁も巻き込んでやっていただきたい。

事務局／課長

- ・ 委員の皆様のご指摘・ご提案については、実行委員会の組成に向けて、検討していきたいと考えている。

千田委員

- ・ 文化首都年事業を継続していくための方法は見えているようで見えていない。
- ・ 近畿地方整備局が継続してやっていくのか。その基盤があるのかどうか。国土交通省が文化をテーマにやっていけるのか心配がある。
- ・ 事業を継続・拡大していくための、方法・基盤をしっかりと築いていかないといけない。
- ・ なお茶の文化のシンボルイベントでは、大阪城に6千人を集めたようだが、どのような取組を行ったのか。

事務局／課長

- ・ 大阪市に西の丸庭園等の会場を無償提供いただいたのが大きかった。
- ・ 参加いただいた団体にできる範囲で費用負担していただき、実行委員会の持ち出しが少なかったことも良かったと思っている。
- ・ 広報については、準備会構成機関、特に大阪市が大阪城天守閣復興 80 周年記念の PR に合わせて行ってくれた。
- ・ また、櫓などの非公開施設の公開があったことや、紅葉がきれいな時期だったことも集客につながったと思う。詳細な分析は今後行う予定である。

坂上委員

- ・ プロモーションが重要になってくると考えている。
- ・ 茶の文化に関しては、コミックがある。私は現在、作者と連携したりしている。浄瑠璃人形をテーマにコミックを書いたら、若い人が興味を持ちこれまでと違うファンを開拓できるのではと思う。漫画・ゲームと連携することができれば、若い人を開拓できる。
- ・ 仏女、歴女等、伝統的なものに魅力を感じる時代になっている。そこにもターゲットを向ければと思う。

河内委員

- ・ 人形浄瑠璃に関わるヒロインが登場するようなドラマの台本を募集し、朝ドラなど NHK に売り込むような発想があっても面白いかもしれない。

橋爪座長

- ・ 国民文化祭や関西広域連合等の取組の使い分けをしっかりと、色々な連携の中で、本

事業（文化首都年事業）を際立たせてもらえればと思う。当委員会としては、人形浄瑠璃に決定するということにしたい。

- ・ これで議事は終了させていただく。事務局に司会を戻させていただく。

事務局／矢田

- ・ 参考資料を配布させていただく。
- ・ （今後のスケジュールについて説明）
- ・ オブザーバーのメンバーから何か質問は無いか。

徳島県

- ・ 人形浄瑠璃のテーマを承認していただき御礼申し上げます。皆様と協力しながらやっていきたいと思うので、よろしく願います。

・

4. 閉会

事務局

- ・ 第1回ブランド向上推進委員会を終了させていただく。本日はありがとうございました。

以上